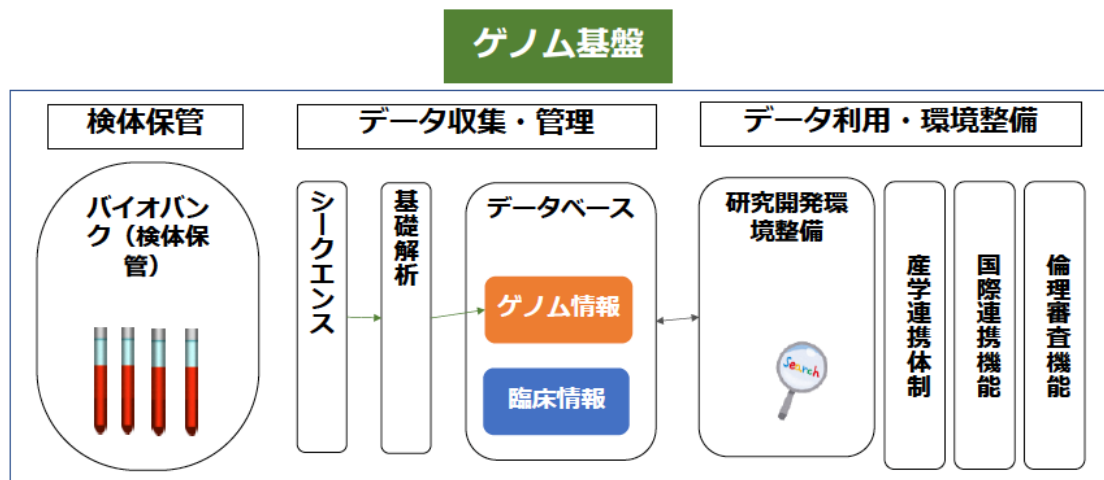


厚生労働行政推進調査事業補助金（難治性疾患政策研究事業）
難病に関するゲノム医療推進にあたっての統合研究
**ゲノム基盤の運営・管理方法の在り方の検討
及び運用手順書の作成**

徳永 勝士
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
ゲノム医科学プロジェクト（戸山）



「ゲノム基盤」が担う役割のうち、「臨床検体の保存・管理の方針と運用方法」については、以下の3項目を検討して取りまとめた。(1-1)バイオバンクの構築方針、(1-2)バイオバンクが備えるべき要件、(1-3)バイオバンクに保存する検体の量と種類。

データ収集・管理については、「ヒト全ゲノムシークエンス及びデータ解析の方針と運用方法」、及び「ゲノムデータ、臨床情報の保存・管理の方針と運用方法」に大別して検討した。前者の課題について以下の2項目を検討して取りまとめた。(2-1)ゲノム基盤のシークエンス解析部門に求められること、(2-2)シークエンス解析に関する委託と自主運営の比較。また後者の課題については、以下の3項目を検討して取りまとめた。(3-1)ゲノムデータ保管に必要な能力など、(3-2)パブリッククラウドとオンプレミスの比較、(3-3)臨床情報の保存と管理の方針と運用。

データ利用環境の整備については、産学連携、国際連携、倫理審査を担当するそれぞれの班員との協力の上で、データベースの利活用、運営、管理に必要な事項を検討している。